

【個人】

山 行 報 告 書

山行計画提出者： 蓑島

山 域・山 名： 会津駒ヶ岳 (2133m)		福島県南会津郡桧枝岐村
入 山 日： 令和6年9月13日(金)～14日(土) 1泊2日		
参 加 者	L：蓑島 高山 久保 島崎 男 1名、女 3名、計 4名	
	天気：9月13日 晴れ 9月14日 晴れのち曇り 中門岳から遠く平ヶ岳を望む→	
月 日()	集合時間： 午前 6 時 25 分	集合場所： 東武線大宮駅改札口
9月13日	大宮 06:32—(東武線)—06:53⑦春日部 07:04③— (東武特急リバティ会津 101号)—09:23 会津高原尾瀬口 9:40—(会津バス)—10:48 駒ヶ岳登山口 10:53…駐車場 11:40…13:10 水場 13:49…駒ノ小屋 16:10	
9月14日	駒ノ小屋 6:03…15…6:23 会津駒ヶ岳 6:39…50…7:19 中門岳 7:26…65…8:48 駒ノ小屋 9:05…9:58 水場 10:22…駐車場 12:15…駒ヶ岳バス停 12:49…12:58 道の駅 14:22—(会津バス)—15:45 会津高原尾瀬口 16:00—16:34 新藤原 16:54—17:29 下今市 17:34—(東武特急リバティけごん 42号)—18:42 春日部 18:48—大宮 19:03	
荒天候時のエスケープルート： 駒の小屋ピストン		
装 備 等	個人装備： ツェルト、ヘッドランプ、雨具、防寒衣、コンパス、地図、非常食、コッフェル、コンロ、インナーシュラフ、手ぬぐい(枕カバー)、熊鈴、ストック、スパッツ、水(途中水場あり・小屋でも販売)、防虫対策用品、下山後の着替え 個人食： 13日昼と夜、14日朝と昼	

感想 一日目：登山口バス停から駐車場まで歩いてだけで汗が出た。ここから水場までその汗が止まらない。暑さで寡黙になりがちなのを何とか会話をしてやっと水場到着。清水の冷たくておいしかったこと。そこからしばらくは等高線もゆるみ、体も元気になった。森林限界を抜け湿原を進むと、建設会社の人たちが木道の整備をされていた。ありがたい。感謝です。そしてやっと小屋に着く。宿泊者のみか買えるという小屋のTシャツを全員買い、すぐ夕食の用意。20時前には夢の中だった。

二日目：4時起きして早々に朝食を済ませ、会津駒ヶ岳と中門岳へ向かう。青空の中で、尾瀬の山、日光の山、平ヶ岳等360度望めた。中門岳でお茶タイムをとり、名残惜しいが下山開始。気が付くといつの間にか雲が上がってきて先程まで見えていた景色が姿を消していた。さすが昨日の汗をさっぱり洗い流したいということで、道の駅に寄り温泉に入りさっぱりとなって帰路に着く。